

保護者等向け 放デイ自己評価表

<職員分>

令和7年 3月31日
放課後等デイサービス TIME

【環境・体制整備】

■利用者増加に伴い、第3単位の増設を行った。施設の改修、及び職員の増員など事業規模の拡大に対する投資の負担はあったが、顧客の要望に応えるための努力を实らせることができた。利用者の利用希望者の利便性の向上を図ることが出来た。

・3階の指導訓練室の改修を行い、定員を10名増やすことで、利用者の増員に対応し、必要設備、及び備品をそろえることが出来た。

・定員数(単位数)の増加に伴い、児発官、児童指導員等のスタッフの確保に努め、4月当初の新規事業単位の増設に間に合わせる事ができた。

・定員増に伴う利用者の活動保障のためのゲームPC、机、いす等の設備・備品に向けての投資により、活動を削減することなく、開所することが出来た。

【必要な支援の充実】

■警報発令時の対応、防災訓練、いじめ防止研修等により職員の資質向上を目指した訓練、研修等の実施に努めながら、緊急時の対応等の共通理解に努めた。

・消防訓練、防災訓練等の実施により災害時などの避難や避難場所の説明、建物の特徴を踏まえた具体的な動き等の指導により、利用者自らの行動能力・判断力の向上に努めることができた。

・気象情報や災害時の対応について、保護者等と共通理解をすることにより、災害時の具体的な対応や動きについての安心・信頼を得ることができた。

・生徒の活動に県レクリエーション協会の講師によるレクリエーション活動の継続により、利用者の健康や体力増進を図るだけでなく、活動を通じて人間関係の醸成及び、社会性の向上に努めることができた。

【保護者等の説明等】

■緊急時対応マニュアル、感染症発生時の対応マニュアル、防犯マニュアル、いじめ・虐待防止マニュアル等の作成により、職員の資質向上につなげることができたが、保護者や関係者への周知徹底という点では、課題が残った。

・活動概要や行事予定をLine等により保護者等の情報共有に努めることが出来た。但し、一方的な情報提供や連絡に終始することが多く、保護者からの意見などの確認という点では弱さがあった。行事や活動に対するきめ細かな意見集約についても今後対応する必要がある。

【非常時の対応等】

■緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルについては作成済みであるが、「感染症対応マニュアル」、「BCP(自然災害発生時における業務継続計画)」については、今後も引き続き、保護者及び利用者、職員に対しての周知徹底が急務である。

【満足度】

■郊外行事、所内イベント等の充実により利用者の満足度に寄与していきたいと考えるが、利用者の増加に伴い、所内イベントが難しくなる現状を踏まえながら所外での活動を充実させながら、利用者及び保護者の満足度を高めていきたい。

・利用者の増加に伴い、利用者全体での活動のみならず、希望者のみの活動にも対応できるように所員の体制や施設・設備・備品の充実をさらに押し図っていく必要がある。